

派 遣 報 告 書（報告者： 田島 誠孝 ）

大会名	第 78 回南九州四県対抗バスケットボール選手権大会
開催地	宮崎県宮崎市
日 時	令和 6 年 4 月 20 日（土）～21 日（日）
担当ゲーム 1	女子 小林（宮崎） vs れいめい（鹿児島）
相手審判	三木大助・田島誠孝・角田杏子
担当ゲーム 2	女子 れいめい（鹿児島） vs 明豊（大分）
相手審判	山中萌衣・田島誠孝・田中美津子
担当ゲーム 3	男子 宮崎工業（宮崎） vs 大分上野丘（大分）
相手審判	田島誠孝・江上寛洋・角田杏子
Pre-Game Conference	
☐ Basic Mechanics ☐ プライマリ ☐ チーム情報	
Post-Game Conference	
（担当ゲーム 1） ☐ リバウンドやマッチアップの場面をタフだけドラフにさせないように確認して臨んだ。怪我につながるようなポジション争いや、リバウンドの飛び込み、シューターの着地のプレイについては、笛でメッセージを伝えられた。コーチのアピールに対して、聞く姿勢をもってあげるとクルーの信頼につながるので、大事にしていきたい。 （担当ゲーム 2） ☐ プライマリーを超えて判定したことを振り返った。アングルは取れているがボールウォッチャーになってしまっているので、自分のエリアの責任を考え、判定するならよりケイデンスでコールする必要があった。EQQ のファールのケースに関しては、クルーでメカを工夫してみることができた。 （担当ゲーム 3） ☐ クルーと協力して、ショットクロック、タイマーの管理をしながら処置ミスのないようにゲームを進められた。CC として、PGC でプレスディフェンスに対して C のポジションの役割やタフなゲームにできるようにクルーと確認して進められた。ボール運びのときのディフェンスについて、まだ整理した方がよいプレイもあった。	
今大会に参加しての感想など	
☐ 九州の審判員と交流することで、大分県での審判活動をさらに頑張ろうと意欲が高まりました。CC メンタリティーをもって、ゲームを管理するためにコミュニケーションを取る姿勢を大事にしていきたい。また、それには判定力も磨かないといけない。これからも研鑽を積み、今後の審判活動で生かしていきたいです。 ☐ 今回の派遣にあたり、開催県の宮崎県の皆様には大変お世話になりました。また、家族、職場、大分県協会の皆様にはご理解をいただき、派遣させていただいたことを心からお礼申し上げ、報告とさせていただきます。	